

2 本市に影響を与える様々な時代潮流

(1) 本市を取り巻く時代の潮流

〈低成長時代のまちづくりに向けた仕組みづくり〉

人口減少・少子高齢化の時代が現実のものとなる中、人々のライフスタイルに合わせた豊かな社会を形成していくため、低成長時代の中で持続するまちづくりが求められています。

① 魅力あふれる地方の創生による人口減少社会の克服

2014年（平成26年）5月に民間研究機関の「日本創成会議」が公表した、全国の約半数に当たる896市区町村が消滅可能性があるとのレポートは、全国の地方自治体に衝撃をもたらしました。人口減少や高齢化は、国内需要や労働力人口の減少などによる経済活動の縮小、地域コミュニティ*の崩壊、社会生活基盤の劣化につながると懸念され、消滅可能性の原因になるとの指摘もなされています。そのため、魅力あふれる地方を創生し、人口減少を克服することが課題となっています。

② 価値観と暮らしの多様化

人々の価値観は量よりも質の豊かさを、物の豊かさよりも心の豊かさを重視する方向へと変化してきており、社会との関わり方や家族の在り方などのライフスタイルの多様化が進んでいます。このような社会の変化の中で、家庭や地域生活などにおいて多様な生き方が選択・実現できる社会を求める声も大きくなってきており、官民一体となって仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を実現していくための対応が求められています。

③ 公と民の新たな関係構築の機運の広がり

2000年（平成12年）の「地方分権一括法」の施行以降、国から地方へ、広域自治体から基礎自治体への「権限移譲」と、国の法令による義務づけ・枠づけの見直しなどの「規制緩和」が進んでいます。地方自治体は様々な主体と協力関係を築き、地域の実情に即した効率的かつ自主的な行政運営を実現することが求められています。さらに、地域主導型への転換と歩調を合わせるように、社会の成熟化、社会への貢献意識の高まりなどを背景に、市民と行政の協働の領域の拡大が進んでおり、行政運営やまちづくりへの市民参画機会は拡大する傾向にあります。



■NPO 法人城山を考える会主催イベント



■まち・ひと・しごと創生

*地域コミュニティ 「コミュニティ」とは一般的に共同体または地域社会と訳され、中でも「地域コミュニティ」は、特に地域の結び付きが強く、地域性を持った集団のことを指します。